

生態園 NEWS Letter

No181

2019/5

NPO 法人

茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会事務局

Tel/Fax : 045 - 945 - 0816

E-mail seitaie@ybb.ne.jp

URL <https://www.seitaie.com/>



草だんご(4/13)



マユミ



フタリシズカ



コゴメウツギ



ノイバラ (5/9, 10)



① ツマキチョウ♀ (4/22)



② カメノコテントウ (4/8)



③ マイベニノメイガ (4/20)



④ アカハネムシ (4/14)

〇〇〇水辺のいきもの〇〇〇
カワウ/ウ科

川や湖、海辺に生息し、本州では1年中見られる。体は真っ黒だが目はきれいな緑色。水に潜って自在に泳ぎ、魚を捕るのが得意だが、湖では漁業者に嫌われがち。



- ① 年に1回、3~5月の間だけ現れる春を代表するチョウの一種です。
- ② 体長12mm前後と大きなテントウムシです。模様がカメの甲羅に似ています。
- ③ 羽化直後は、花びらを思わせる鮮やかな紅色をした奇麗なガです。
- ④ 赤い翅(はね)が、有毒のベニボタルという虫に擬態(きたい)して外敵から身を守っているそうです。昆虫:山村靖男

今月の花

ツルウメモドキ (蔓梅擬) ニシキギ科ツルウメモドキ属

蔓性の植物で、他の木に絡みついて昇り、春に小さな黄色い花をつけ、秋に美しいオレンジ色の実をつけます。この実が美しいので花材やリースなどに使われます。生態園では、林床を這っている若い株はあちこちで見られるのですが、高く昇って実をつけるまで成長する株がなかなかありませんでした。通用門の階段付近で僅かに実をつけていましたが、去年は田んぼの西側の水路近くの株がよく成長し、見事に沢山の実をつけました。今年も花が沢山ついていますので、秋の実も期待できるでしょう。

雌雄異株で、雄株と雌株とがあります。ニシキギの仲間なので、花はいたって地味で、径6-7mmほどの小さな黄緑色の花を群がってつきます。花に比べて果実は派手で、3つに割れてオレンジ色の実が現われ、沢山つくとも見事です。

名前は、蔓性で葉が梅の葉に似ていることからと言われていました。似た名前の植物に、やはり秋に赤い実をつけるウメモドキがありますが、これはモチノキ科で全く別種です。生態園でも御手洗池付近などで見られます。

菊池 光昭



上:花序(19/5/9) 下:果実(05/12/9)

5月にみられる花 コゴメウツギ、コナスビ、ナルコユリ、ニガナ、ノイバラ、トウバナ、ハコネウツギ、フタリシズカ、ミズキ